

平成30年度  
「環境整備」事業報告書

平成31年3月

一般社団法人 日本船舶品質管理協会

環境整備事業は、本会の自己資金及び日本財団の助成金により実施する事業であって、平成30年度は、次のとおり5事業を実施した。

## 1 品質管理調査研究

事業場における自主検査体制の合理化又は品質の改善を推進するため、各種の調査研究を行い、関係先に対して意見交換、意見具申等を行うことを目的とし、次の事業を行った。

いずれも目標を達成することができた。

### (1) 船用品の改善・品質管理に関する調査研究

新たに型式承認された物件を調査、整理し、「国土交通省型式承認物件一覧表（平成30年版）」を作成し、会員、関係機関等に配付した。

### (2) 業種別部会の開催

救命艇装置部会を開催し、2020年1月1日から、強制化される救命艇装置等の整備に関するIMO決議の内容及び国内対応について検討した。

## 2 指導

船舶検査制度の適正、かつ円滑な運用に資するため、必要な指導や情報提供等を行うことを目的に、次の事業を行った。いずれも目標を達成することができた。

### (1) 製造認定事業場継続調査指導

船用機器等の製造認定事業場28事業場の継続指導を実施した。そのうち、6事業場については、製造に必要な施設や関係書類の継続調査指導に加え、当該事業場が認定を受けてから5年目に該当したため、更新申請のための指導、助言並びに関係書類の確認を行った。

また、更新に際しての現地審査の立会指導を5事業場について実施した。

さらに現地審査時における指摘事項の確認立会いを1事業場について実施した。これらのことから、認定事業場制度に基づく当該事業者の品質管理体制の維持、向上を図ることができた。

### (2) 船用品整備事業場巡回調査指導

膨脹式救命いかだ整備認定事業場の17事業場及びGMDSS救命設備整備証明事業場の18事業場の巡回指導を実施した。

この中で、整備に必要な施設、関係書類等について厳正な維持、管理に努めるよう指導するとともに、GMDSS救命設備の整備に必要なシールドルームの電波漏洩状況を測定調査し、電波遮蔽状況が規定値内にあることを確認した。これらのことから、整備認定事業場等の品質管理体制が適切に維持されていることが確認できた。

### (3) 製造認定事業場調査指導

当協会から国土交通省へ要望していた製造認定事業場の範囲及び自主検査の対象拡大が改正されたことから、新たに製造事業場認定制度の取得を希望する船舶用ポンプ製造事業者及びプロペラ軸等製造事業者の認定申請に向けた説明や申請書添付書類の作成等の指導と準備を進めた。今まで認定を取得していた製造認定事業場は、比較的品質管理体制を整えて

いる大手企業が主であったが、今後、取得を希望する企業は、品質管理体制を整えるのが難しい中小企業が増えており、当協会として企業規模に適した品質管理体制を構築し、認定を取得できるよう指導を実施した。

(4) 船用品整備情報の集中管理

新システムによる運用を7月1日から開始し、その後、整備データの入力方法の改良を行った。10月1日からタブレットを使用して、現場で直接整備データを入力できるシステムの稼働を開始した。従来と同様に全国の整備認定事業場で整備された膨脹式救命いかだ等の整備データ（25万件登録）及びGMDSS救命設備の整備データ（18万件登録）を新システムで集中管理し、整備事業者からの船舶に搭載されている膨脹式救命いかだ等の過去の整備記録の問合せに対応している。また、製造年月別の経年劣化の状況等必要な情報を把握して整備事業者を提供している。

平成30年は、膨脹式救命いかだ8,954台、GMDSS救命設備10,575台の整備情報を入力した。また、整備事業場からの問い合わせは945件あり、情報提供を行った。

また、新システムについては、不正整備の再発防止に向けた取り組みの一環として、整備作業状況の写真をデータとして入力できるシステムに改良した。

(5) 型式承認物件の承認、変更等に関する指導

関係事業者からの型式承認物件の承認あるいは変更の手続き等についての問い合わせに応じ、適宜指導を行った。

(6) GMDSS 救命設備積付け技術講習会・研修会の開催

GMDSS 救命設備積付け資格者を養成するため、新規資格取得者のための講習会を開催し、37名が合格して新たに GMDSS 救命設備積付け資格者として認定された。

また、GMDSS 救命設備積付け資格者の技能の維持、向上を図るための研修会を開催した。

[講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H30.10.25(木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者37名)	学科：①船舶安全法及び関係法令 ②積付け(積み降ろし)要領と留意事項 実技：積付け、外観点検時の注意事項 技量認定試験：学科、実技

[研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H30.10.26(金)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区) (受講者：35名)	学科：①GMDSS及び海上通信関連の最新動向 ②機器整備上の留意事項 実技：積付け、外観点検時の注意事項

H30. 12. 14(金)	大阪リバーサイド ホテル (大阪市) (受講者 33名)	学科：①GMDSS 及び海上通信関連の最新動向 ②機器整備上の留意事項  実技：積付け、外観点検時の注意事項
----------------	---------------------------------------	---

(7) 磁気コンパスアジャスタ講習会・研修会の開催

日本コンパスアジャスタ協会と共催で、磁気コンパス整備技術者を養成するための講習会（B講習会）を開催した。

また、コンパスアジャスタ（有資格者）の技能の維持、向上を図るための研修会を開催した。

[B講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H30. 7. 17(火) ～ H30. 7. 21(土)	東京海洋大学 品川キャンパス (東京都港区) (受講者 19名)	[B講習会] 1. 自差修正理論及び自差修正 2. 傾船差理論及び傾斜差修正 3. 実技実習及び認定試験

[研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H30. 7. 7(土) ～ H30. 7. 8(日)	三原シティホテル (広島県三原市) (受講者 10名)	1. 改訂した整備指導書による講義 及び JIS 規格の解説 2. 自差修正実務における対応の質疑応答
H30. 8. 20(月) ～ H30. 8. 21(火)	東京海洋大学 品川キャンパス (東京都港区) (受講者 12名)	1. 改訂した整備指導書による講義 及び JIS 規格の解説 2. 自差修正実務における対応の質疑応答

(8) イマーシオン・スーツ整備技術講習会・研修会の開催

IMO の基準に定められた有資格者による点検整備要領に対応するため、資格を有する技術者の養成、確保を図ることを目的として、イマーシオン・スーツの保守点検整備に従事しようとする者を対象に、会員のイマーシオン・スーツ製造事業者3社と共同で講習会及び研修会を開催し、所期の目的を達成した。

[イマーシオン・スーツ整備技術講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H30. 11. 28 (水) ～ H30. 11. 29 (木)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区) (受講者： 3名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備 2. 気密試験 3. 補修 4. 着用実習

[イマーシオン・スーツ整備技術研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H30. 11. 27 (火)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区)  (受講者：22名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備 2. 気密試験 3. 補修
H30. 11. 28 (水)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区)  (受講者：15名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備 2. 気密試験 3. 補修



学科講習（講義）



実技講習（気密試験）

(9) 膨脹式救命胴衣等整備技術講習会・研修会の開催

膨脹式救命胴衣、作業用救命衣(膨脹式)、膨脹式救命浮環等の点検整備を行う者の整備技術の向上を図るため、会員の膨脹式救命胴衣等及び部品の製造事業者9社と共同で講習会を開催し、22名を新たに膨脹式救命胴衣等整備技術者として認定した。

当協会から国土交通省に対して要望していた技術基準等の改正が行われ、救命いかだ認定整備事業場に属し、本講習会の整備技術者証を受有する者が実施する膨脹式救命胴衣の整備については、船舶検査官の立会いが省略され、整備記録の提出でよいこととなった。このことにより、今年度の受講希望者が大幅に増加している。(平成29年度講習会参加6名、平成30年度講習会参加22名)

また、整備技術者22名を対象に開催した膨脹式救命胴衣等整備技術研修会では、受講者全員の資格を更新し、初期の目的を達成することができた。

[膨脹式救命胴衣等整備技術講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H30.10.9 (火) ～ H30.10.10 (水)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：22名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備、部品交換 2. 折り畳み・収納

[膨脹式救命胴衣等整備技術研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H30.10.9 (火) ～ H30.10.10 (水)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：22名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備、部品交換 2. 折り畳み・収納



学科講習 (カット装置の説明)



実技講習 (救命胴衣の点検)

(10) 船舶用消防設備整備技術講習会の開催

船舶用消防設備の点検整備を行う技術者の養成を行うことを目的として、会員である船舶用消防設備（固定式炭酸ガス消火装置、固定式泡消火装置、固定式粉末消火装置、局所消火装置、火災探知装置、消火器及び個人装具）のメーカ8社と共同して「船舶用消防設備整備技術講習会」の開催を計画していたが、参加希望者が少なかったため中止とした。

(11) ISO 関係業務等に関する指導

ISO 規格関連において、船舶に係る国際標準化等に関するアンケートを実施し、規格改正等の実施テーマの要望を調査した。また、ISO 関連の規格改正（特に救命及び消防関係）の審議情報を関係者等に提供した。

(12) 品管時報及びSS ニュースの刊行

定期的な刊行物として、国際海事機関(IMO)の船用品等に関する技術要件改正作業の動向、国内関係法令の改正、通達等の内容、その他会員の参考となる各種情報を内容とする

品管時報及びSS ニュースを発行した。

(13) ホームページによる情報提供

ホームページを適宜更新し、会員をはじめ多くの海事関係者に対して船用機器や船用品の製造・整備に関する各種情報を提供した。

3 救命艇装置の安全性向上のための人材養成

SOLAS 条約の改正により救命艇及び進水装置（救命艇装置）の整備については有資格者による年次点検等が義務づけられたことに対応し、点検整備を行う有資格者の養成、確保することを目的に、平成17年度から会員の救命艇装置事業者9社と共同して講習会を開催している。

平成30年度は、海外及び国内の事業所に所属する技術者を対象とした海外／国内向け講習会を1回開催した。講習会には、海外事業場から25名、国内事業場から6名が参加し、講習5日及び試験1日を実施した。30名が試験に合格し、合格者に対し救命艇装置整備技術者の資格を付与した。また、資格の有効期限が到来する救命艇装置整備技術者の資格更新のための研修会を2回開催し、受講者87名の資格を更新した。

[救命艇装置整備技術講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H30.9.10(月) ～ H30.9.15(土)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区)  (海外/国内向講習会) (受講者 31名)	学科講習 1. 救命艇装置整備の背景、事故事例、関係規則 2. 救命艇の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 3. 離脱装置の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 4. 進水装置の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 実技講習 1. 救命艇装置の操作、保守点検整備 2. 離脱装置の操作、保守点検解放整備 3. ボートウインチの保守点検解放整備 4. FRP製救命艇の補修要領 技量認定試験 1. 学科試験 2. 実技試験





講習会 (H30. 9. 10~15)

[救命艇装置整備技術研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H30. 8. 21(火) ～ H30. 8. 22(水)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (海外向け研修会) (受講者 54名)	<p>学科講習</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. MSC/Circ.1206/rev.1 等の改正と救命艇の整備に対する PSC の結果について</li> <li>2. 救命艇装置の整備点検における問題点について</li> <li>3. 進水装置の整備点検における問題点について</li> </ol> <p>実技講習</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 離脱装置のトラブルシューティングと部品交換要領</li> <li>2. ウインチの不具合事例と各種部品交換要領</li> <li>3. 救命艇・進水装置の保守点検時の不具合事例と対処要領</li> <li>4. FRP 製救命艇の補修要領</li> </ol>
H31. 2. 27(水) ～ H31. 2. 28(木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (海外/国内向け研修会) (受講者 33名)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 離脱装置のトラブルシューティングと部品交換要領</li> <li>2. ウインチの不具合事例と各種部品交換要領</li> <li>3. 救命艇・進水装置の保守点検時の不具合事例と対処要領</li> <li>4. FRP 製救命艇の補修要領</li> </ol>



研修会 (H31. 8. 21~22)



#### 4 相談

検査制度及び品質管理全般について、会員或いは一般からの相談、質問等を受け、適宜対応した。これらの各相談、質問等については、必要に応じ関係官庁、関係機関等と連絡をとりながら対応した。

#### 5 刊行物

平成30年度の環境整備事業に係る刊行物は、次のとおりである。

- (1) 品管時報（6回）
- (2) SS ニュース（1回）
- (3) 国土交通省型式承認物件一覧表